

久留米大学を受診した患者さんへ

「手術室における針刺し・切創事故の発生に関する要因探索」の研究に使用する資料について

この研究では、久留米大学を受診し、手術の際に作成し保存されている以下の資料を使用します。

- 1) 期間：平成 18 年 4 月から平成 25 年 3 月
 - 2) 対象：上記期間中に手術室で針刺し・切創事故が起きた事例
 - 3) 使用する資料：麻酔表
-

あなたの資料を今後の医学の進歩のために研究に使用させていただきたくお願い申し上げます。研究の内容の詳細は以下のとおりです。

研究内容をよくお読みになり、もし研究にご協力いただけない場合は、お手数ですが下記の連絡先までご連絡ください。

研究ご協力の撤回受付は研究成果の公表前までとなります。

ご了承くださいませよう、お願い申し上げます。

1) 研究組織：

所属：久留米大学バイオ統計センター・久留米大学病院感染制御部及び久留米大学病院中央手術部

研究代表者：久留米大学バイオ統計センター 講師 矢原 耕史

研究分担者：

久留米大学病院 感染制御部

感染制御学講座 教授 渡邊 浩

感染制御学講座 講師 升永 憲治

看護師 三浦 美穂

看護師 稗田 文代

久留米大学病院 中央手術部

眼科学講座 教授 山川 良治

麻酔科・麻酔学講座 准教授 三島 康典

2) 研究の意義と目的：

医療従事者にとって、針刺し・切創(切り傷)事故は重大な医療事故です。医療現場でこの事故が起こると、医療従事者は患者さんの血液から肝炎ウイルスや HIV などの、血液を介して感染する病気にかかる危険に晒されてしまいます。それにより、事故を起こした医療従事者やその家族に精神的ショックやストレスがかかることとなります。そこで本研究では、手術室での針刺し・切創事故が起こる要因を探ることとしました。

3) 研究の方法：後ろ向き観察研究

4) 研究期間：平成 26 年 6 月倫理委員会承認後～平成 30 年 3 月 31 日

5) 上記の資料の使用を選定した理由：針刺し・切創事故を起こした状況を把握するためです

6) プライバシー保護・人権保護・倫理的配慮について：

患者さんのお名前は匿名化され、連続した番号のみで登録されます。したがって、患者さんの ID やお名前の情報は研究代表者に知られることはありません。すべての研究者は個人情報保護のために最大限の努力を払います。また、倫理的・科学的観点から、本研究が有効で安全であるかを客観的に評価するために、院内の倫理委員会の審議を受けます。

7) 研究成果の発表の方法：論文として発表します

8) その他：利益相反はありません

9) 事務局、問い合わせ、連絡先：

久留米大学バイオ統計センター 講師 矢原 耕史
〒830-0011 福岡県久留米市旭町 67 番地 医学部 B 棟 7 階
TEL 0942-31-7835
FAX 0942-31-7865

研究番号 14070